



なすびの花

KY活動

なすびの花でも何度かテーマに挙げているKY活動(危険予知活動)ですが、今月もまたKY活動のお話です。

先日、車を運転していた時のこと。

運転席前のボンネットに、イナゴが止まっていることに気づきました。

「今飛び降りたら、対向車か後続車に踏みつぶされるよ・・・」

とイナゴの身を案じながら、運転しました。

街中を走っている間も、街中の交差点の信号待ちの間も、そのイナゴは、ずっと風を受けながらジッと耐えている様子でボンネットにしがみついていた。

ボンネットにイナゴが居るその風景に慣れてきた頃、田んぼの近くの信号で止まったその時、突如このイナゴが左手側の草むらに向かって、大きくジャンプして飛び立ちました。

イナゴがああ小さな頭の中で、小一時間程の間、危険を予知しながら耐え、やっと安全な場所を見つけて、

『今や!』

と判断したとしか思えなかったあの出来事で、危険を想定することの大切さをあらためて実感した、ちよつと感動的一幕でした。

トラブルが起きてから後悔する前に、このイナゴのように、危険を予知して安全に慎重に作業することが大切です。

KY活動は、ヒューマンエラー・・・「人間の不安な行動」に着目して行うのが良いとされています。

ヒューマンエラーは、左の表のように12種類に分類されます。

①危険軽視・慣れ	②不注意	③無知・未経験・不慣れ
④近道・省略行動	⑤高齢者の心身機能低下	⑥錯覚
⑦場面行動本能	⑧パニック	⑨連絡不足
⑩疲労	⑪単調作業による意識低下	⑫集団欠陥

このような不安全要素に着目し、それでもミスを起こさないような工夫を考える必要があります。

何が危険なのか日々意識を向け、各々が、

危険予知の感性を磨くことが重要です。

そして異常や危険を感じた時には、すぐに管理者やリーダーに報告してください。

危険を未然防止し、全員が明るく活き活きと働ける職場風土をみんなで目指しましょう。

ヒヤリハット事例..本社工場

本社製造課では、全員参加でヒヤリハット活動をされています。

昨年度は、16件のヒヤリハット改善をされ、工場内にも掲示しておられます。

今月は、その中から事例を一件、ご紹介します。

1. どこで..

工場内東側の機械

2. ヒヤリハットした内容(危険箇所) ..

カバーが終日開いたままで、不注意で機械に手を入れてしまいそうでした

(上の図①②⑪と関連)

3. 処置 ..

カバー部分を、観音開き型に改造

4. 効果 ..

誤って手を入れる危険がなくなったのと同時に、掃除などのお手入れもし易くなった

この件では、工場内東側の機械の隣の溶着機2台にも、同様の観音開きの扉を設置され、工夫されていました。

ひとつの事象で、他にも応用されていて素晴らしいですね!